

児童朝会 校長の話 2月8日

今年の夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催予定ですが、ちょうど今から1年後の2022年2月4日、中国の北京で冬のオリンピック・パラリンピックが開かれる予定です。1年後ですから今シーズン開かれる様々な大会での成績によって、オリンピックに出場できるかが決まってきます。皆さんは、冬のオリンピック・パラリンピックで、どんな競技に興味がありますか。

この写真は、男子フュギュアスケート、
昨年の12月に開かれた全日本選手権の表彰式です。1位の羽生結弦選手は3年前の



平昌オリンピック、その前のソチオリンピックで金メダルを取っています。北京オリンピックで取れば3回連続の金メダルです。2位の宇野昌磨選手は平昌オリンピックで羽生選手



に続いて銀メダルを取っています。宇野選手は2019年の全日本選手権では羽生選手を抜いて優勝しました。そして3位に入っているのが鍵山優真選手です。まだ17才です。昨年のユースオリンピック、若い人たちの

世界大会では優勝しています。これからの活躍が楽しみです。最近、こんな場面がありました。3人そろって「今年の目標は何ですか」とインタビューを受けました。羽生選手と宇野選手が話した後、鍵山選手に回ってきましたが、世界のトップ選手2人を前にして、遠慮してなかなか言えませんでした。すると羽生選手が「自分の気持ちをそのまま言えばいいんだよ」と声をかけました。すると、「世界の頂点を目指したい！」とすることができました。

3人の選手とも、頂点を目指して頑張っていて欲しいですね。

もう一人、ノルディックスキーという種目の渡部暁斗選手を紹介します。ジャンプと長距離をスキーで走るクロスカントリーの合計で競います。渡部選手は平昌オリンピック



クで銀メダル、その前のソチオリンピックでも銀メダルでした。最近のインタビューでこんな話をしていました。



「コロナ禍で思うように練習ができなかったり大会が中止になったりして、北京オリンピックも開催されるかわかりません。いろんな不安がある中でなぜ自分はスキーを始めたか、思い出してみました。「スキーが好きだった。そして

上手になるのが楽しかった。」自分はオリンピックに出るためにスキーをしているわけではない。北京オリンピックが開かれたらそれは嬉しい。でももし開かれなくてもそこに行き着くまでの過程を楽しみたい。自分が上達していくのを楽しみながら探究していきたい。そして自分のやるべき事を見失わないようにしたい。」

様々な不安がある中で、アスリートたちが前向きな気持ちをもって一生懸命挑戦しています。そんな選手たちを応援していきたいですね。